



松江都市圏におけるノーマイカーウィークの実施 ～4年間にわたる職場MMの地道な展開による成果～

松江市公共交通利用促進市民会議・島根大法文学部

飯野公央

松江市役所

深江 篤司・杉谷年章

国土交通省中国地方整備局

松江国道事務所

西ノ原真志・山本活稔

筑波大学大学院

谷口 守

(株)オリエンタルコンサルタンツ

神田 佑亮

松江市の紹介

- ・「全国で47番目に有名な県」
島根県の県庁所在地
- ・1607年に城と城下町の
建設が始まる。
- ・1611年に「城下町松江」
が完成
(今年が開府400年)



松江市の紹介

松江市では、
松江城の国宝化を
推進しています。



城下町松江

400年のときを経た今も江戸情緒を感じる

松江城 松江城は天守閣が国指定重要文化財で、桜の名所としても多くの観光客に喜ばれています

堀を渡る風は、
古の薫りをそっと運ぶ



堀川めぐり 松江城を巡る堀川遊覧船にお乗りいただければ、城下町松江を代表する風景が楽しめます

松江市の紹介





発表の構成

1. 松江市の職場MMの取り組みの経緯
2. 職場交通プラン「まつエコ宣言」
3. 一斉ノーマイカーウィークの実施

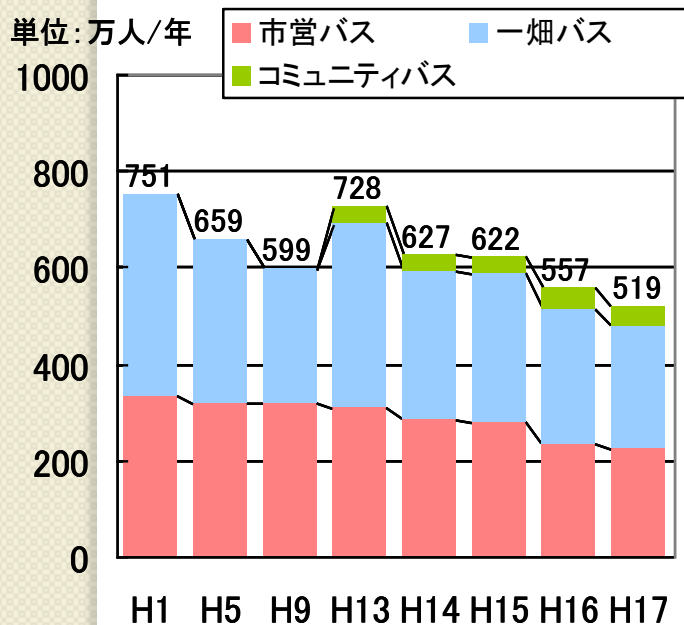


1. 松江市の職場MMの 取り組みの経緯

松江市の職場MMの取り組みの経緯

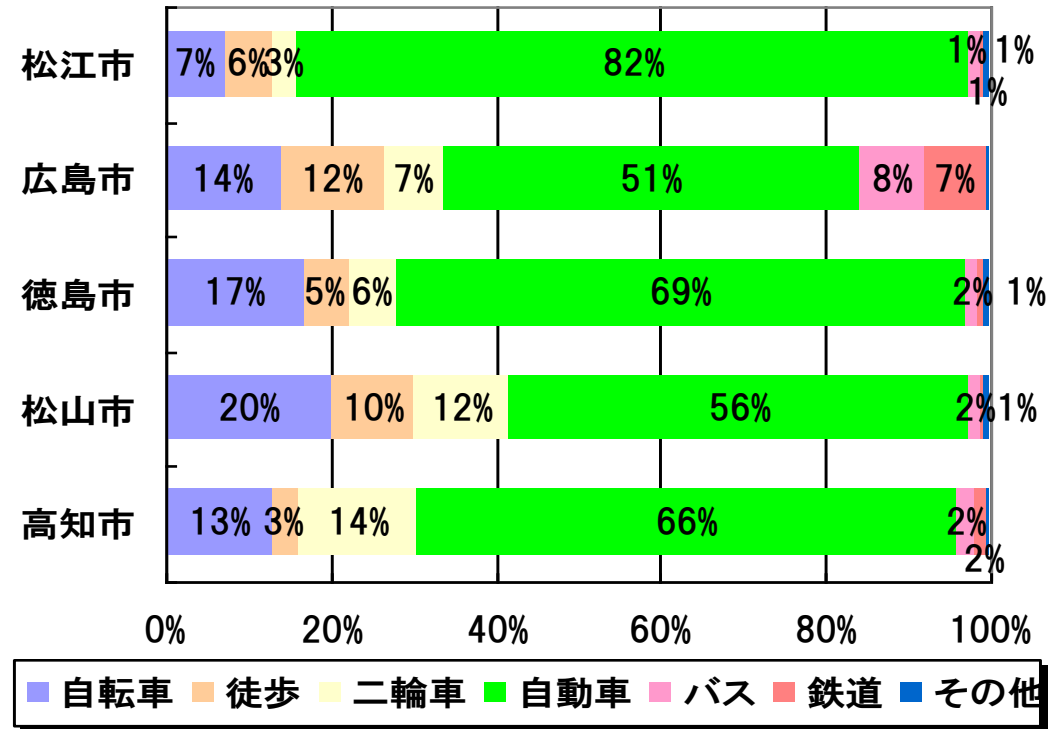
- ・松江市は人口20万人程度(合併前は15万人弱)
- ・天候は日本海特有の曇天、雨、冬季の積雪、風が強く寒い
- ・そのため、マイカー依存度が極めて高い
- ・女性では被服費・身支度時間の節約になる等の意見も

■事業者別バス利用者の推移



出典: 一畑バス、市営バス(交通局)、松江市

■通勤目的(平日)における分担率の都市間比較



出典: H17全国都市交通特性調査

将来都市像

中心市街地と郊外の生活拠点に暮らしの機能を集めながら、お互いを便利な『公共交通の軸』で結ぶまちづくりを目指します。

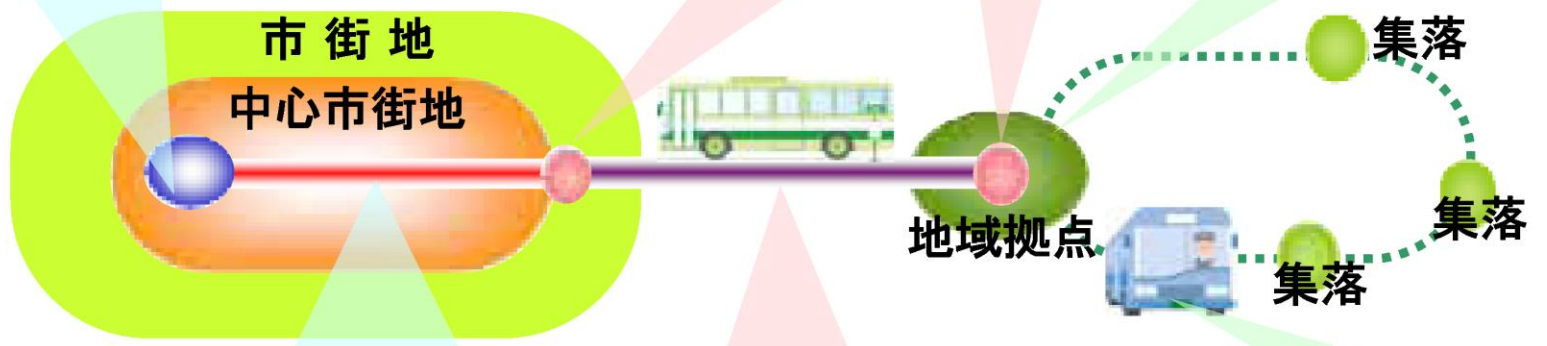
高次な都市機能



気軽に利用できる便利な乗換え【パーク＆ライド】



暮らしが便利になる機能



誰もが使いやすい便利な公共交通
バリアフリー、定時性、適切な料金



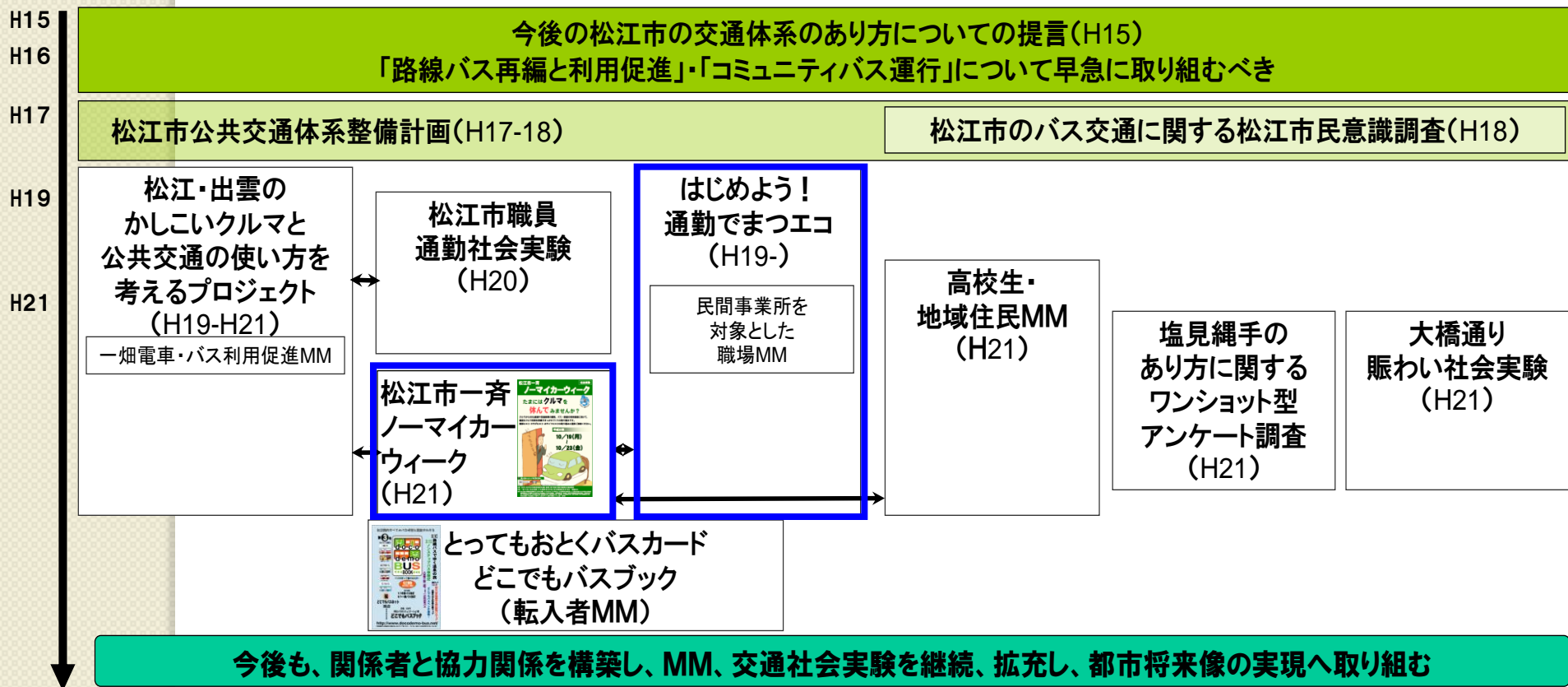
中心市街地と地域拠点を結ぶ便利な公共交通



生活拠点と集落を結ぶ便利な公共交通



- 都市構造づくりと交通まちづくりを連動して展開
- その一環として、民間事業所と連携した職場MM「はじめよう 通勤でまつエコ」をH19年から展開。
- 参加者が一定規模まで増加したのを期に、「一斉ノーマイカーウィーク」を実施



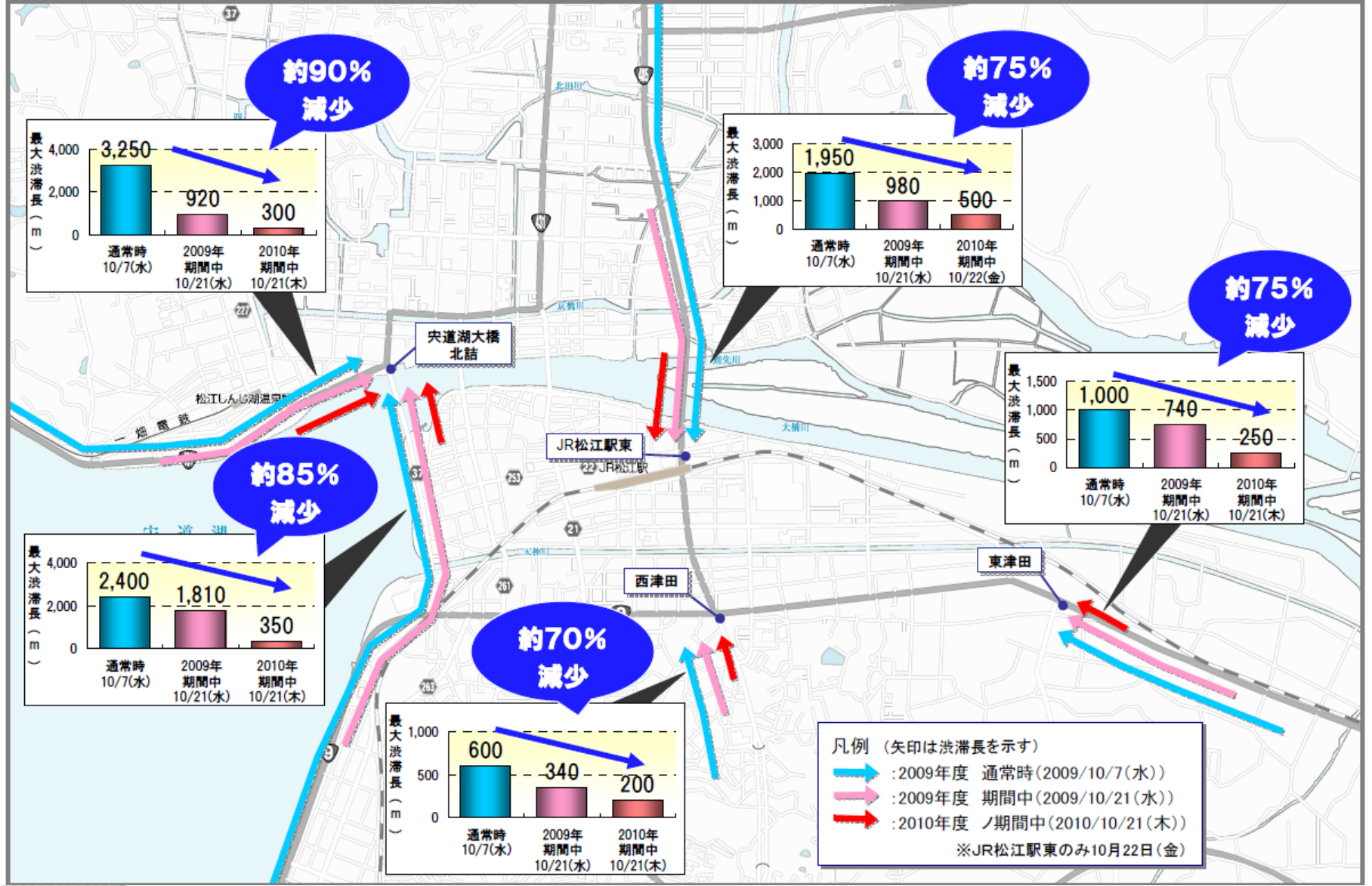
職場MM取り組みの経緯

- ・平成18年度：行政職員を対象としたMMの実施
一畑電車利用促進MMの実施
- ・平成19年度：民間事業所を対象としたMMの実施
 - ・組織的プログラム、個別の働きかけによる
自発的な職場交通プラン策定を促す手法
 - ・13社に働きかけ、12社が反応、8社が職場交通プラン策定
- ・平成20年度：職場交通プラン策定事業所の拡大
- ・平成21年度：一斉ノーマイカーウィーク実施
 - ・10月下旬の5日間実施
 - ・H21年度末には、職場交通プラン策定事業所が約70社に
- ・平成22年度：一斉ノーマイカーウィーク実施(2回目)
 - ・バス100円、特急・快速電車の臨時停車等の施策を実施

2010年も引き続き実施し、前年度以上の効果が得られた

■渋滞状況の比較（朝ピーク時(7時～9時)の最大渋滞長）

※調査日は通常時:平成21年10月7日(水)、期間中:平成22年10月21日(木)、22日(金)





2. 職場交通プラン 「まつエコ宣言」

職場交通プラン「まっエコ宣言」

松江市は大規模な事業所が少なく、中小規模の事業所が多いことから、個別の事業所にアプローチ

- 「ビジョン」、「体制」、「戦術」の明確化を促進
- 「何を」、「どんなレベルで」書けばよいか記入例を通じ情報提供(安心感)
- 初回訪問時に記入例と様式を手渡し
- まずは、
「できることから、
できるペースで、
できる人から」

記入例

CO2 (二酸化炭素) や渋滞を減らす「まっエコ宣言」をして実践しましょう。
暮らしのなかのちょっとした心がけを続ければ、ガソリンの使用量とともにCO2の排出量が減り、環境やあなたのお財布にも優しい生活を送ることができます。
できることから、できるペースで、わずか4,5人の取り組み内容でも結構です。
「まっエコ宣言」の作成が、各社における具体的な取り組みを検討され、実行される際の一助になれば幸いです。

(企業名) * * * * * 会社 松江支社

1. 職場交通の現状

- (例) 事業所に勤務する従業員●●人のうち●●人(●●%)がクルマ通勤している。
- (例) クルマ通勤者は、渋滞に巻き込まれるなど公共交通利用者比べて遅刻が多い。
- (例) 業務移動で2km以内の短い移動でもクルマ利用をしている従業員が多い。 等

2. 今後の具体的な取り組みと目標 ※宣言後、取り組み状況により内容を変更することも可能です。

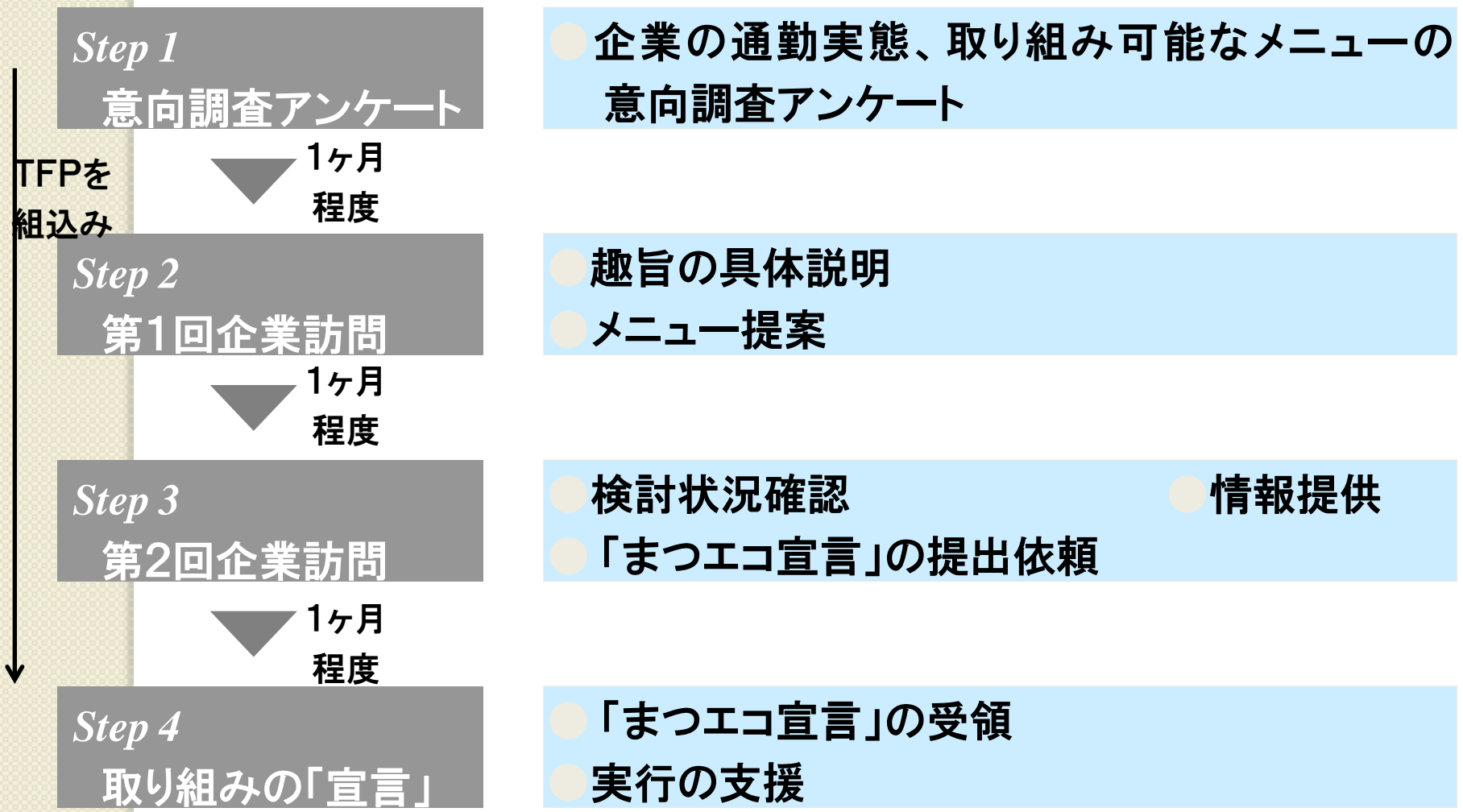
メニュー	具体的な取り組み	目標
(例) ノーマイカーデー	(例) 毎週水曜日は極力クルマ以外での通勤を呼びかけます。 (例) 晴れた日は極力クルマ以外での通勤を呼びかけます。 (例) 春・夏(4月~9月)は極力クルマ以外での通勤を呼びかけます。 等	(例) ノーマイカーデー実施日は、クルマ通勤者の1割(●人)の公共交通・自転車・徒歩等への転換を目指します。 等
(例) 時差出勤	(例) 総務部において、始業時間を前後の時間に変更できるようにします。 等	(例) 時差出勤の導入により、総務部のピーク時のクルマ通勤者を2割(●人)減らします。 等
(例) 業務移動での自転車利用の推進	(例) 2km以内の業務移動では自転車等を利用するように呼びかけます。 等	(例) 業務移動での2km以内の移動の9割をクルマ利用以外に転換を図ります。 等
(例) 駐車場の見直し	(例) 事業所内駐車場の通勤における利用を原則として禁止し、クルマ以外での通勤を促します。 等	(例) クルマ通勤者の2割(●人)を公共交通・自転車・徒歩等への利用転換を図ります。 等
(例) エコドライブ	(例) 従業員にエコドライブ啓発冊子を配布し、教育を実施します。 (例) 社有車にエコドライブステッカーを貼付し、従業員の取り組みを促します。 (例) 毎月のエコドライブ取り組み状況を従業員ひとり一人が振り返るためのアンケートを実施します。 (例) 社有車の低公害車の導入を図ります。 等	(例) 通勤、業務移動における従業員のエコドライブ実施率100%を目指します。 等

3. 実施体制

実施責任者	* * * * * 会社 松江支社 支社長 * * * * *
担当者	* * * * * 会社 松江支社 総務部 課長 * * * * * 係長 * * * * *
連絡先	TEL:0852-* * * - * * * * FAX:0852-* * * - * * * *

今後ホームページや行政広報誌等で「まっエコ宣言」を送付下さった企業を協力企業として広報する予定です。各社の具体的な取り組み内容を紹介する場合には、予め許可を頂いた上で紹介致します。

● 企業への意向調査、数回の訪問により自ら「宣言」し、実行を促した。 (自律性のある職場交通プランとするため)



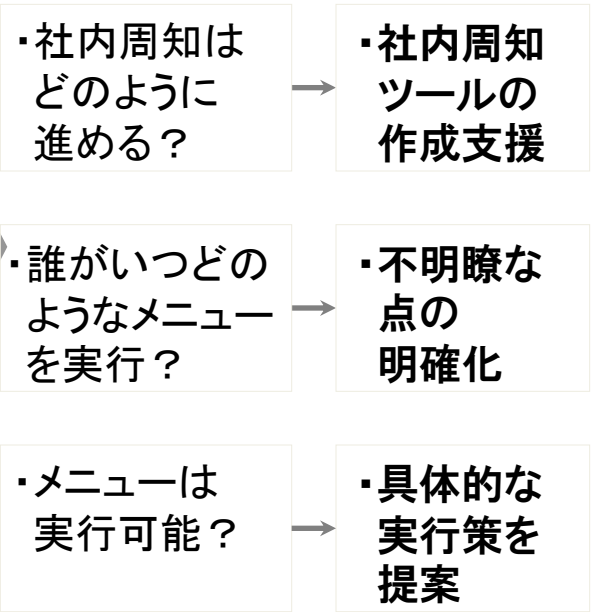
職場交通プラン「まっエコ宣言」

宣言後のフォロー

- 企業から「まっエコ宣言」を受領し、企業が宣言した取り組み内容を確認
- 各企業の取り組み実施を支援するためのツールを作成し、配布
- 事業所の担当者のすべきこと(≡して欲しいこと)を支援

まっエコ宣言分析と支援のポイント

◆内容分析の観点 ◆対応と支援策



宣言受領分析

▼まっエコ宣言 社内周知用ポスター(例)

● 従業員に**宣言内容**と**具体的取り組み**を周知する**ポスター**を作成

● **企業との対話**(訪問・電話)を継続実施

● **宣言メニューの実施**を、**ツールの提供**や**実施方法の提案**により支援。



◆業務移動の自転車移動支援ツール
事務所からの2km圏を図示(自転車貸出簿の貼付用等)



- 店舗駐車場にゲートを設置し、従業員車両の排除、店舗から遠いところの駐車場の斡旋を行った。(大型小売業)


**まっエコ
松江CO宣言**

松江都市圏のCO2や交通渋滞を減らすため
わが社は下記の取り組みを宣言しました！

従業員駐車場の変更
従業員駐車場を店舗から離れた場所に変更します。
少しでも歩いて通勤することで、エコにもあなたの健康にもgoodです。
お客様へのサービス向上にもつながります。

エコドライブの推進
通勤、業務移動ではエコドライブを心がけます。
目指せエコドライブ実施率100%!

時差出勤の実施
今後も継続して、出勤時間を早番、中番、遅番と分けることで渋滞の緩和に役立ちます。



職場交通プラン「まっエコ宣言」

●「まっエコ宣言」ポスターを店舗内や事務所入口等に掲示し、顧客に対しても宣言内容がわかるようにした。

◆大型ショッピングセンター



◆スーパー

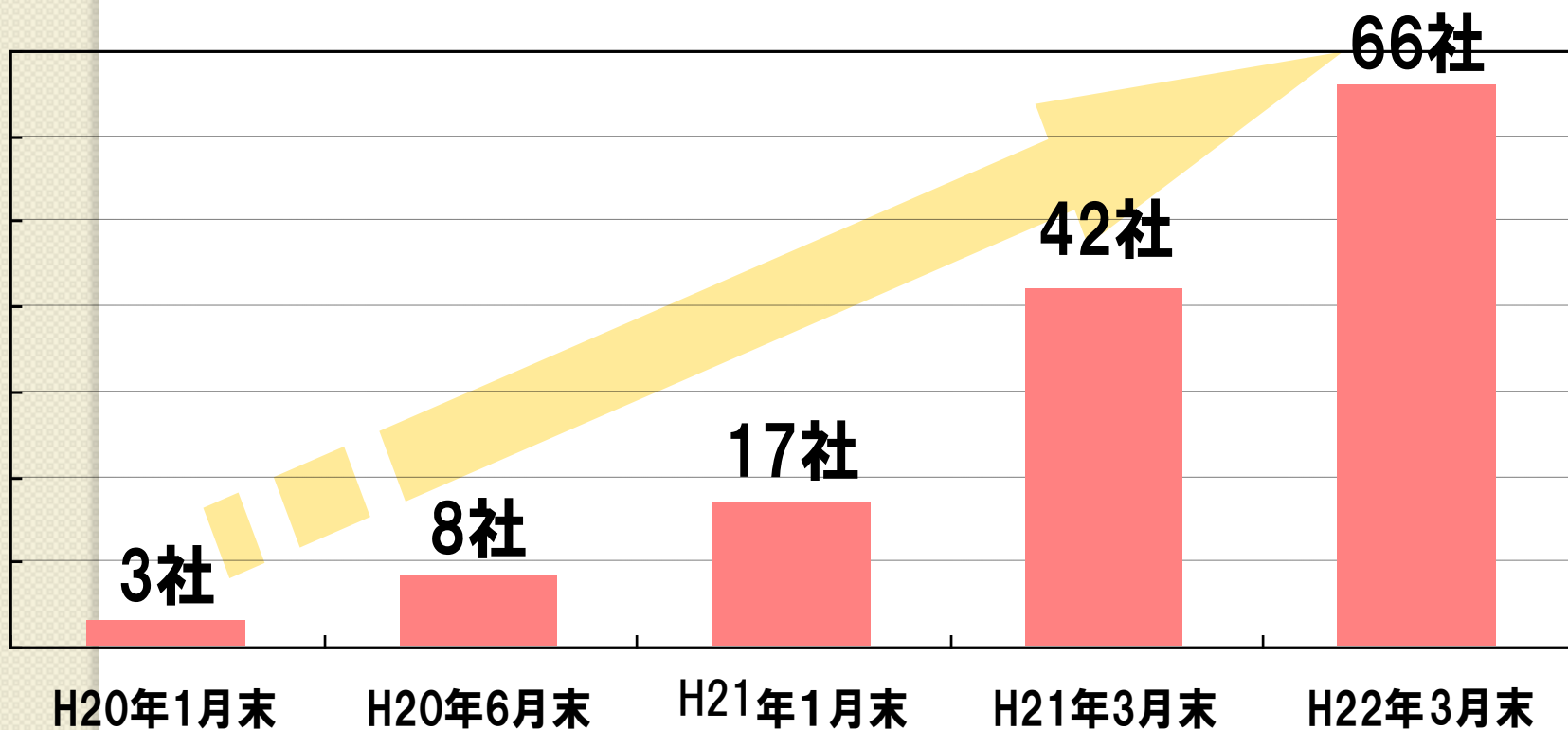


◆商工会議所



個々の事業所とコミュニケーションを図り、
自発的に「職場交通プラン」を作成する事業所が
順調に増加した

▼「まつエコ宣言」策定事業所数





3. 一斉ノーマイカー ウィークの実施

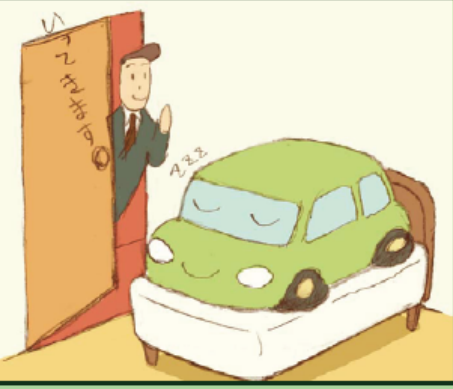
一斉ノーマイカーウィークの実施

クルマをご利用の皆様へ...

たまには**クルマ**を
休んでみませんか？



松江市一斉ノーマイカーウィーク実施！
平成22年10/18(月)~10/24(日)



現在、松江市にお住まいの多くの皆さまにとって、クルマはなくてはならない移動手段となっています。しかし、クルマに頼るあまり、「すぐ目の前の場所へもクルマで移動」なんていうことになっていませんか？

過度のマイカー利用は、CO₂の増加、交通渋滞、バス利用者の減少による路線の縮小、歩行者の減少による商店街の活力低下など、様々な問題の原因になっています。

そこで、松江市では過度なマイカー利用を見直し、クルマもバスも歩行者もバランスよく機能する「だれもが安心して移動できるまちづくり」を目指すため、様々な取組みを行っています。

ノーマイカーウィークって？

普段はクルマを利用している人も、たまにはバスや電車、自転車などで出かけてみよう！という取組みです。

鳥根県では、毎月1日20日をノーマイカーデーにしていますが、今回は、1週間の期間中1日以上可能な範囲でご協力をお願いします！

ノーマイカーウィークの目的は？

クルマから出るCO₂削減や交通渋滞の緩和、バス・鉄道の利用促進を目指しています。

ノーマイカーウィーク
期間中は松江市内の
路線バス・コミュニティバスが100円で
利用できます！

※レイクライン(実証バス・空海連絡バス・柳屋汽船連絡バス・島地バスを除く。)

ノーマイカーウィークをサポートする取り組みは、このチラシの裏へ！

【松江市一斉ノーマイカーウィーク】

主催：松江市、松江市公共交通利用促進市民会議、鳥根県、国土交通省中国地方整備局松江国運事務所、国土交通省中国運輸局鳥根運輸支局
共催：一畑バス(株)、松江市交通局、日ノ丸自動車(株)米子支店、西日本旅客鉄道(株)米子支社、一畑電車(株)
後援：松江県工業連合会、松江市長官舎、まつえ商工会、(社)鳥根県観光自動車協会、まつえ環境市民会議、松江市交通安全対策会議、鳥根県警察本部、松江警察署、松江市町内会・自治会連合会、松江市公民館長会、一畑電気鉄道(株)、連合鳥根、鳥根県交通運輸産業労働組合協議会、共同通信社松江支所、時事通信社松江支所、朝日新聞松江版局、読売新聞松江支所、産経新聞松江支所、毎日新聞松江支所、中国新聞社、山陰中央新報社、鳥根日日新聞社、新日本新聞社松江支社、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰 (順不同)

松江市政策部 地域・交通政策課 0852-55-5661 | 松江市都市計画部 都市計画課 0852-55-5380
(ホームページ： <http://www.city.matsuyama.jp/jumin/kyotaku/matsuyaco/matsuyaco.html>)

目的

- ・行動変容のきっかけづくり
 - ・「まつエコ宣言」事業所の活性化
 - ・個人に実際に体感してもらう
 - ・その後の継続につなげる
- ・効果の計測とフィードバック

呼びかけ対象

- ・市内の360事業所への働きかけ
- ・商工会議所のチャンネルの活用
- ・バス利用促進地区(約1,500戸)への働きかけ

※ポスターのデザインは「まつエコ宣言」のものと同通(ブランド戦略+コスト抑制)

◆実施のポイント

「10台減れば、100m渋滞が短くなります」と、

「**みんなでやれば松江市内の渋滞が無くなります**」の実証

- ・説明資料での説得の文句の1つ。
- ・ふだん、日常的にやっている分には実感がわきにくい。
- ・企画時の宣言事業所規模は約50社4,500人相当で、都市圏全体への交通環境への影響が無視できないレベルに至る。

・一方、もう少し早く実施したいという声もあったが、規模が熟成するまでガマンした。

▼事業所への説明資料

3 取り組みの目標 「はじめよう!通勤で緑CO2の目指すところ」

松江市は運輸部門からの年間CO2排出量を33万t(2005年度)から11万t(2016年度)に削減することを目標としています。
市民1人あたり ▲100kgCO2/年の削減が必要

1人月1~2回のノーマイカー通勤を推奨!
1人月1回ノーマイカー通勤することでCO2削減効果は約100kg削減(約100mの渋滞を短縮)。

たった10台のクルマが減れば、渋滞を約100m短くできます。

10台減ると 解消

地域社会
●CO2削減(温暖化防止)
●朝夕の渋滞緩和
●公共交通の活性化

企業
●通勤事故削減で安全
●駐車場等の活動経費削減
●CSR(企業の社会的責任)活動として、地域社会へ貢献

従業員
●手軽に健康促進
●渋滞に巻き込まれない
●ガソリン代削減
●事故リスクの減少
●気分転換

好事例 本業店舗の企業が開始したエコ通勤で消費者が賛同し、市内の工場近隣の渋滞緩和に貢献する事例あり。
通勤がバス・電車を利用した環境に消費するの約1/3は、クルマで通勤した場合は2倍以上あります。

◆実施のポイント

代替交通手段利用の機会とするため、利便性向上策を実施

ノーマイカーウィークへの参加をサポートします。

バスで通勤をサポート ノーマイカーウィーク期間中、松江市内の路線バス・コミュニティバスが100円で利用できます！

※レイクライン・高速バス・空港連絡バス・臨岐汽船連絡バス・臨時バスを除く。

パーク&ライド通勤をサポート

パーク&ライド駐車場・駐輪場が利用可能です！

自宅から徒歩で駅やバス停まで行くのが不便なときに、利便性のよい駅やバス停までは車、自転車で行き、そこから公共交通に乗り換えることです。公共交通が利用しやすくなり、また市街地への車の乗り入れを抑えることで渋滞緩和にもつながります。

- ◎実施期間／10月18日(月)～24日(日) ※一部の駐車場は23日(土)・24日(日)は利用できません。
- ◎利用方法／期間中の利用にあつての申し込みは不要ですが、利用可能台数が限られていますので満車の場合はご容赦ください。
- ◎料金／無料 ※目的地までの公共交通機関の利用料金は各自ご負担ください。

地図	場所	地図	場所
1	JR東松江駅	8	松江市役所 玉湯支所
2	JR玉造温泉駅付近	9	八雲町 日吉親水公園
3	JR宍道駅	10	竹矢公民館付近
4	美保関総合運動公園	11	北公園駐車場
5	マリンゲートしまね	12	松江イングリッシュガーデン
6	松江市役所 鹿島支所	13	松江総合運動公園駐車場
7	松江市役所 八束支所	14	田和山史跡公園駐車場

JRで通勤をサポート

臨時ダイヤ運行でJRの利用が便利に！

期間中に通勤時間帯のJRのダイヤと停車駅を変更して利便性をアップします。

- ◎実施期間／10月1日(金)～29日(金)(土・日・祝を除く)
- ◎実施区間／宍道駅・玉造温泉駅→松江駅
- ◎料金(大人)／宍道駅→松江駅 320円 玉造温泉駅→松江駅 190円
- 朝7時台に宍道駅、玉造温泉駅から乗車し、松江駅で下車された場合特急料金は無料です。

パーク&ライド駐車場をご用意しています。 ◎JR宍道駅／駅裏の駐車場 ◎JR玉造温泉駅／近隣のJA跡地

◆各サポートの詳細は市報松江10月号の折り込みチラシをご覧ください。

モニターに参加しませんか？

モニター募集 1 パーク&ライド体験モニター

パークアンドライド駐車場を利用し公共交通機関で市内通勤・通学していただきます。利用状況や感想などのアンケートにご協力いただきます。モニター用駐車場は下記の地図を参照してください。

- ◎実施期間／10月1日(金)～10月31日(日) ◎募集人数／50名 ◎申込締切／9月24日(金)
- ◎申込・お問い合わせ／松江市都市計画部都市計画課 TEL 0852-55-5380

地図	場所	地図	場所
15	みしまや春日店	21	スーパーホームセンターいな田和山店
16	みしまや楽山店	22	一畑電車 津ノ森駅
17	みしまや川津店	23	一畑電車 秋鹿町駅
18	みしまや学園店	24	JR玉造温泉駅
19	みしまや浜乃木店	25	JR宍道駅
20	やよい川津ショッピングセンター		

◆期間中の公共交通機関の乗車料金は松江市が負担します。 ◆期間中のパークアンドライド駐車場使用料金は松江市が負担します。

モニター募集 2 サイクル&ライドモニター

マイカー通勤者を対象に、バス・鉄道などでJR松江駅へ来て、電動アシスト付自転車に乗り換えて目的地へ行く「サイクルアンドライド」を体験していただきます。利用状況や感想などのアンケートにご協力いただきます。

- ◎実施期間／①サイクルアンドライド体験事業：10月29日までの期間内で1ヶ月 ②サイクルアンドライドチャレンジ事業：①に参加された方で引き続き2ヶ月間ご協力いただける方
- ※終了後電動アシスト付き自転車の購入補助あり(補助を受けられる方は自転車購入後6ヶ月間引き続きモニターとして利用状況などを報告していただきます)
- ◎募集人数／10名 ◎申込締切／9月24日(金) ◎申込・お問い合わせ／松江市政策部 地域・交通政策課 交通対策係 TEL 0852-55-5661

◆参加者にはバスカード(2,000円分)を進呈します。 ◆電動アシスト付自転車は松江市が無償でお貸しします。 ◆JR松江駅駐輪場の利用料金は松江市が負担します。

参加呼びかけの方法

- ・事前エントリーを推奨
- ・エントリー時に「何をするか」決めてもらう。

【送付先：FAX 0852-55-5535 松江市総合交通政策室 行】 FAX回答用紙

松江市一斉ノーマイカーウィーク(社会実験)の参加意向について
(および電動アシスト付自転車無料レンタルの意向について)

できるだけ多くの方に松江市一斉ノーマイカーウィークに参加して頂くため、
まずは、別添の『エコ通勤 取り組み好事例集』をご覧の上、以下にお答え下さい。

【1】松江市一斉ノーマイカーウィーク（H21.10.19(月)～23(金)）への参加意向について、当てはまるものに○をつけて下さい。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 事業所全体を挙げて、取り組んでも良い	<input type="checkbox"/> 一部の職員であれば参加できる
<input type="checkbox"/> 条件を満たせば参加できる(条件:)
<input type="checkbox"/> 参加はできない(差し支えなければ理由をお聞かせ下さい:)
<input type="checkbox"/> その他(具体的に:)

【2】松江市一斉ノーマイカーウィーク期間中に「取り組みそうな内容」、「取り組みそうな日」について当てはまるもの全てに○をつけて下さい。また、ご参加頂けそうな「人数」についてご記入下さい。

①取り組みそうな内容 (当てはまるもの全てに○)	<input type="checkbox"/> マイカー通勤者へのノーマイカー通勤の呼びかけ <input type="checkbox"/> 近場(概ね5km以内)のマイカー通勤者への徒歩・自転車通勤への呼びかけ・実施 <input type="checkbox"/> 公共交通(バス・鉄道)による通勤への呼びかけ・実施 <input type="checkbox"/> パーク&ライド(クルマを駅やバス停に駐車し、鉄道・バス通勤)の呼びかけ・実施 <input type="checkbox"/> 相乗り通勤(近所や、自分より近くに住む同僚を乗せて通勤)の呼びかけ・実施 <input type="checkbox"/> 業務移動での自転車の利用 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: _____)
②実施可能日 (当てはまるもの全てに○)	<input type="checkbox"/> 19日(月) <input type="checkbox"/> 20日(火) <input type="checkbox"/> 21日(水) <input type="checkbox"/> 22日(木) <input type="checkbox"/> 23日(金)
③参加予定人数	_____ 人

※実際の取り組み内容や実施日、参加人数に変更があっても問題はありません(現時点の意向で結構です)。

【5】取り組みに関して不明な点や質問などございましたらご記入下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。10月6日(火)までに上記送付先までFAXにてご返信下さい。

※「まつエコ宣言」の基本フレームと連携

連携体制

クルマをご利用の皆様へ…

〔松江市一斉ノーマイカーウィーク〕

主催：松江市、松江市公共交通利用促進市民会議、島根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、国土交通省中国運輸局島根運輸支局
 共催：一畑バス(株)、松江市交通局、日ノ丸自動車(株)米子支店、西日本旅客鉄道(株)米子支社、一畑電車(株)
 後援：松江商工会議所、まつえ北商工会、まつえ南商工会、(社)島根県旅客自動車協会、まつえ環境市民会議、松江市交通安全対策会議、島根県警察本部、松江警察署、
 松江市町内会・自治会連合会、松江市公民館長会、一畑電気鉄道(株)、連合島根、島根県交通運輸産業労働組合協議会、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、朝日新聞松江総局、読売新聞松江支局、
 産経新聞松江支局、毎日新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社松江支社、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰 (順不同)

平成22年10/18(月)~10/24(日)

現在、松江市にお住まいの多くの皆さまにとって、クルマはなくてはならない移動手段となっています。しかし、クルマに頼るあまり、「すぐ目の前の場所へもクルマで移動」なんていることになっていませんか？

過度のマイカー利用は、CO₂の増加、交通渋滞、バス利用者の減少による路線の縮小、歩行者の減少による商店街の活力低下など、様々な問題の原因になっています。

そこで、松江市では過度なマイカー利用を見直し、クルマもバスも歩行者もバランスよく機能する「だれもが安心して移動できるまちづくり」を目指すため、様々な取組みを行っています。

ノーマイカーウィークって？

普段はクルマを利用している人も、たまにはバスや電車、自転車などで出かけてみよう！という取組みです。

島根県では、毎月1日20日をノーマイカーデーにしていますが、今回は、1週間の期間中1日以上可能な範囲でご協力をお願いします！

ノーマイカーウィークの目的は？

クルマから出るCO₂削減や交通渋滞の緩和、バス・鉄道の利用促進を目指しています。

ノーマイカーウィーク期間中は松江市内の路線バス・コミュニティバスが100円で利用できます！

※レクリエーションバス・空港連絡バス・福祉バス・観光バスを除く。

ノーマイカーウィークをサポートする取り組みは、このチラシの裏へ！

〔松江市一斉ノーマイカーウィーク〕

主催：松江市、松江市公共交通利用促進市民会議、島根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、国土交通省中国運輸局島根運輸支局
 共催：一畑バス(株)、松江市交通局、日ノ丸自動車(株)米子支店、西日本旅客鉄道(株)米子支社、一畑電車(株)
 後援：松江商工会議所、まつえ北商工会、まつえ南商工会、(社)島根県旅客自動車協会、まつえ環境市民会議、松江市交通安全対策会議、島根県警察本部、松江警察署、
 松江市町内会・自治会連合会、松江市公民館長会、一畑電気鉄道(株)、連合島根、島根県交通運輸産業労働組合協議会、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、朝日新聞松江総局、読売新聞松江支局、
 産経新聞松江支局、毎日新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社松江支社、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰 (順不同)

松江市政策部 地域・交通政策課 0852-55-5661 松江市都市計画部 都市計画課 0852-55-5380
 (ホームページ) [通勤でまつえ](#) で検索 または <http://www.city.yamaguchi.jp/jumin/soutai/mataueco/mataueco.html>

主催は、
 行政(国・県・市)＋
**「松江市公共交通利用
 促進市民会議」**

実施効果

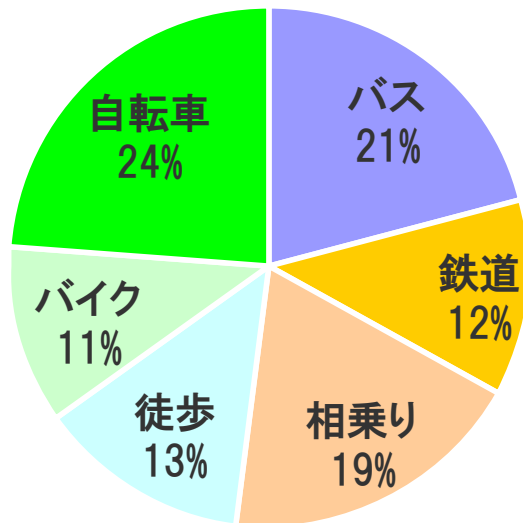
◆参加規模

期間中約100社、5日間延べ約3,200人の方に取り組みに参加

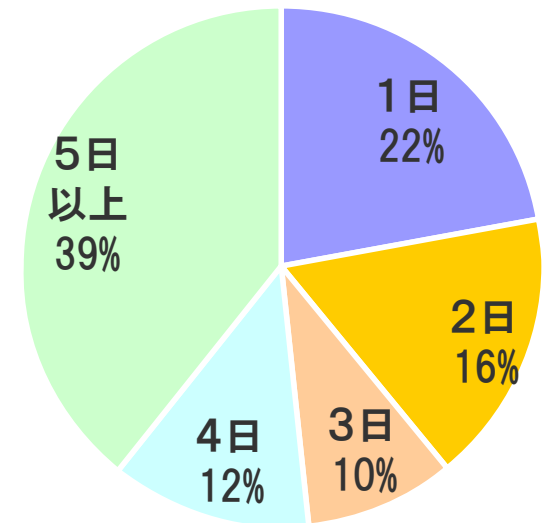
◆マイカーからの転換状況

- コンパクトな都市構造や手軽さ等により「自転車」が24%と最も多い。
- 「バス」が21%。昨年度より大幅増(15%)。

■参加者のマイカーからの転換交通手段の状況



■参加日数

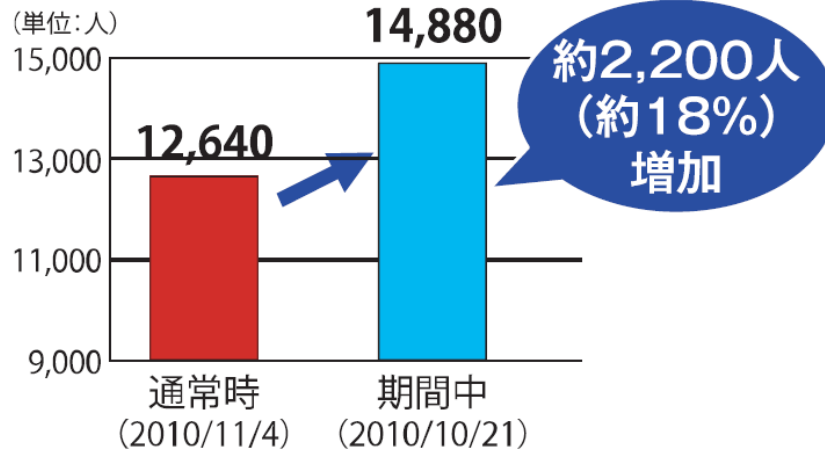


※事後の事業所アンケート結果より
(5日間の延べ人数(3,152人))

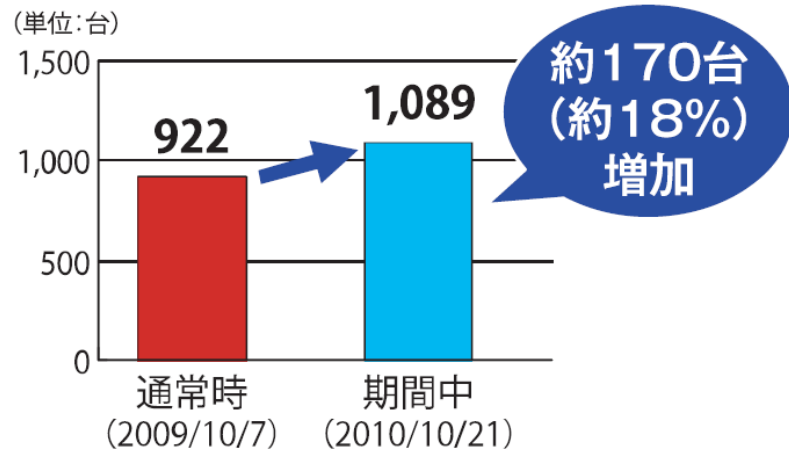
実施効果

バス・自転車の台数も実際に増加

■市内中心部のバス乗客数の比較
(一畑バス、日ノ丸バス、市営バスの調査対象路線の合計)



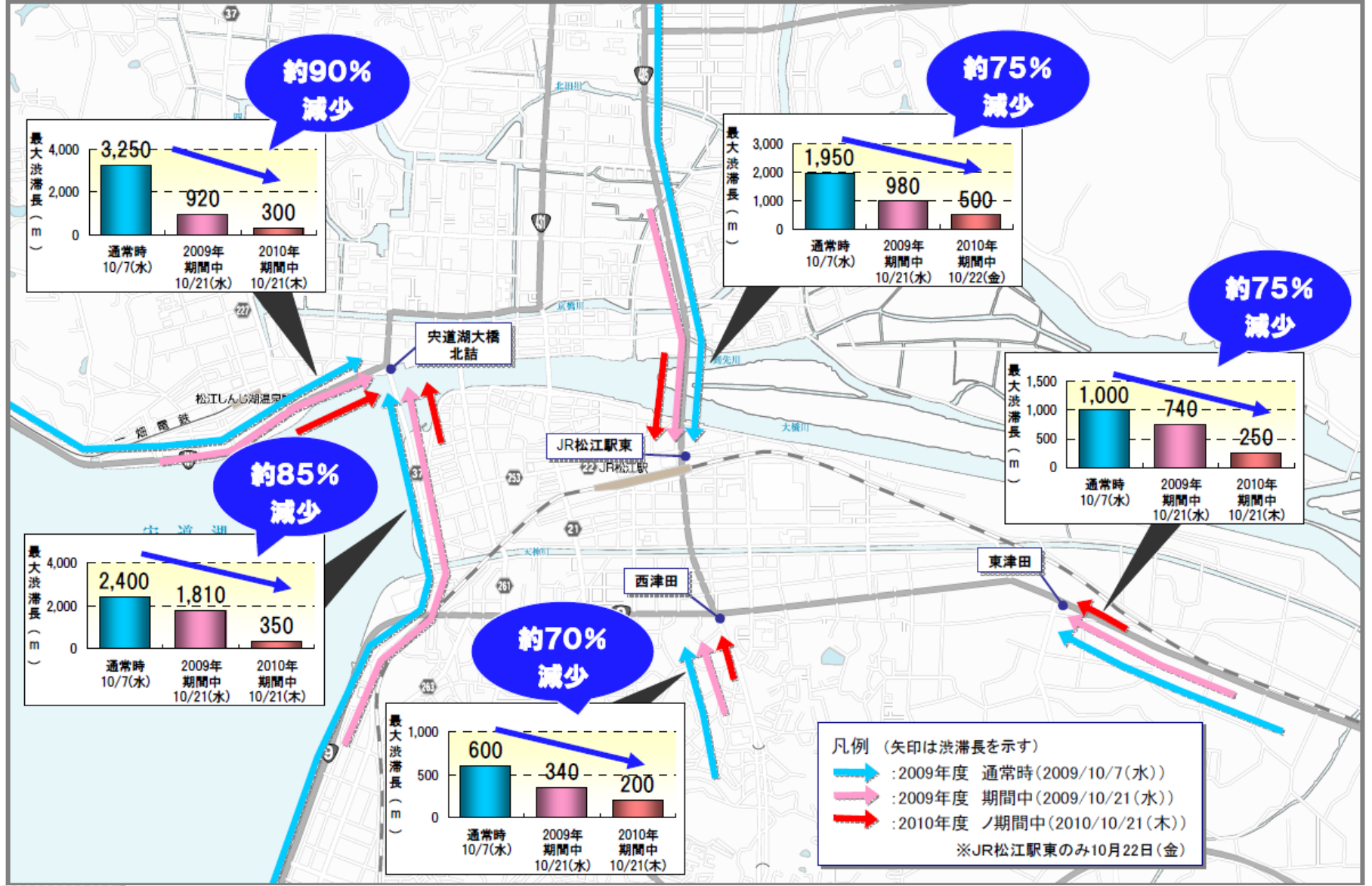
■大橋川を横断する自転車交通量の比較
(朝ピーク時(7時~9時)) (高校生以下を除く一般の方)



2010年も引き続き実施し、前年度以上の効果が得られた

■渋滞状況の比較（朝ピーク時(7時～9時)の最大渋滞長）

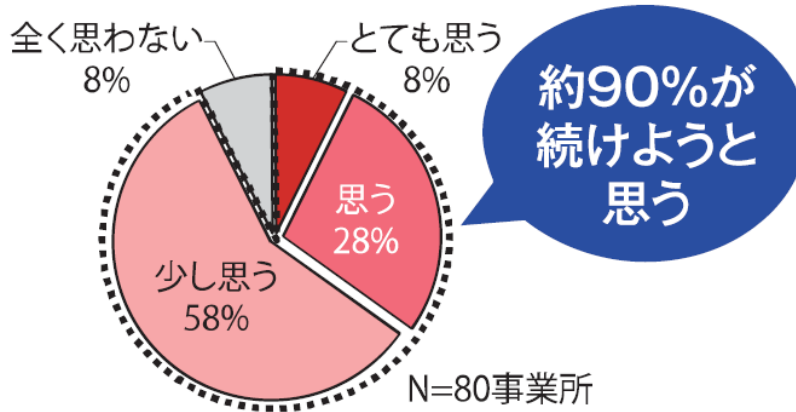
※調査日は通常時:平成21年10月7日(水)、期間中:平成22年10月21日(木)、22日(金)



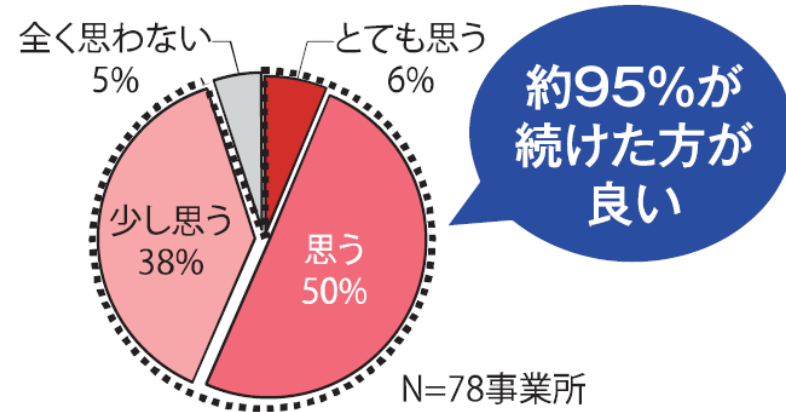
実施効果

意識変容・動機付けにもなった

■ 今後、クルマ利用を控える取り組みを
続けよう(はじめよう)と思うか？



■ 今後もノーマイカーウィークの
取り組みを続けた方が良いと思うか？

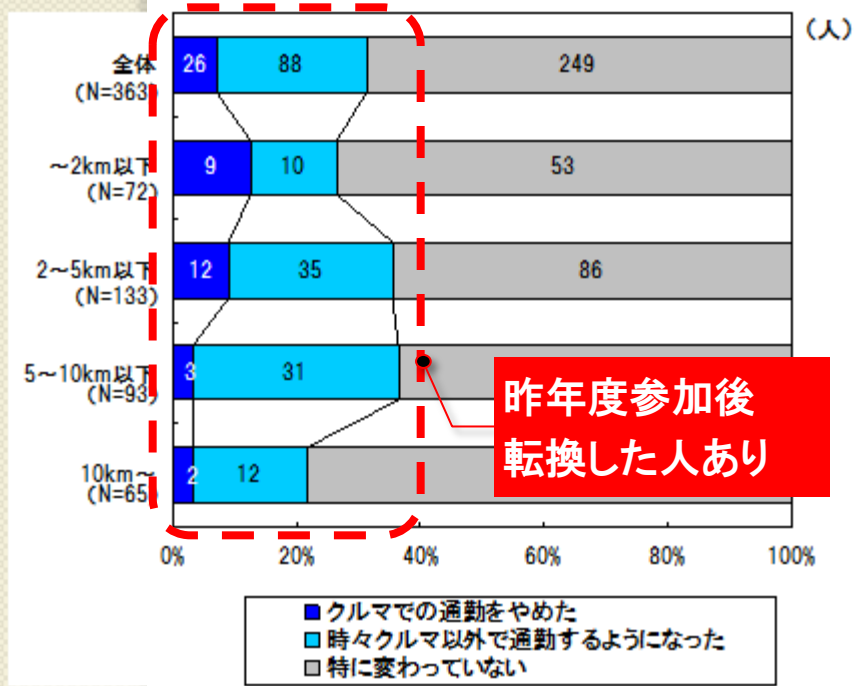


一斉ノーマイカーウィークの実施

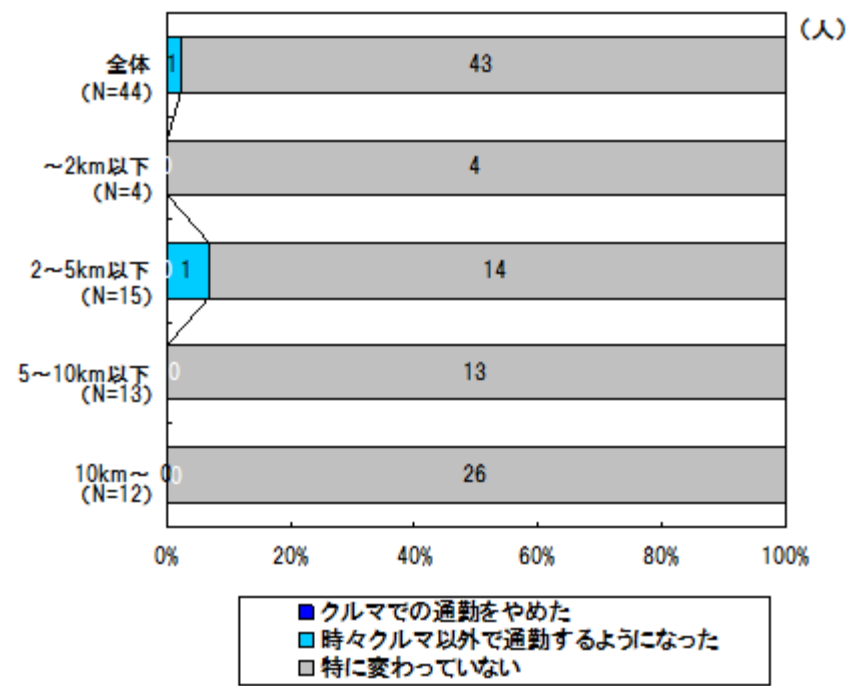
- ・きっかけづくりの後、結果のフィードバックも積極的に展開。
- ・ノーマイカーウィーク後、実際に転換した人もあった。
- ・一旦参加してもらうことは、大きな動機付けとなり、今後の行動変容につながる。

▼ノーマイカーウィークの参加の有無と、クルマからの転換との関係性

▼1年目のノーマイカーウィークに参加

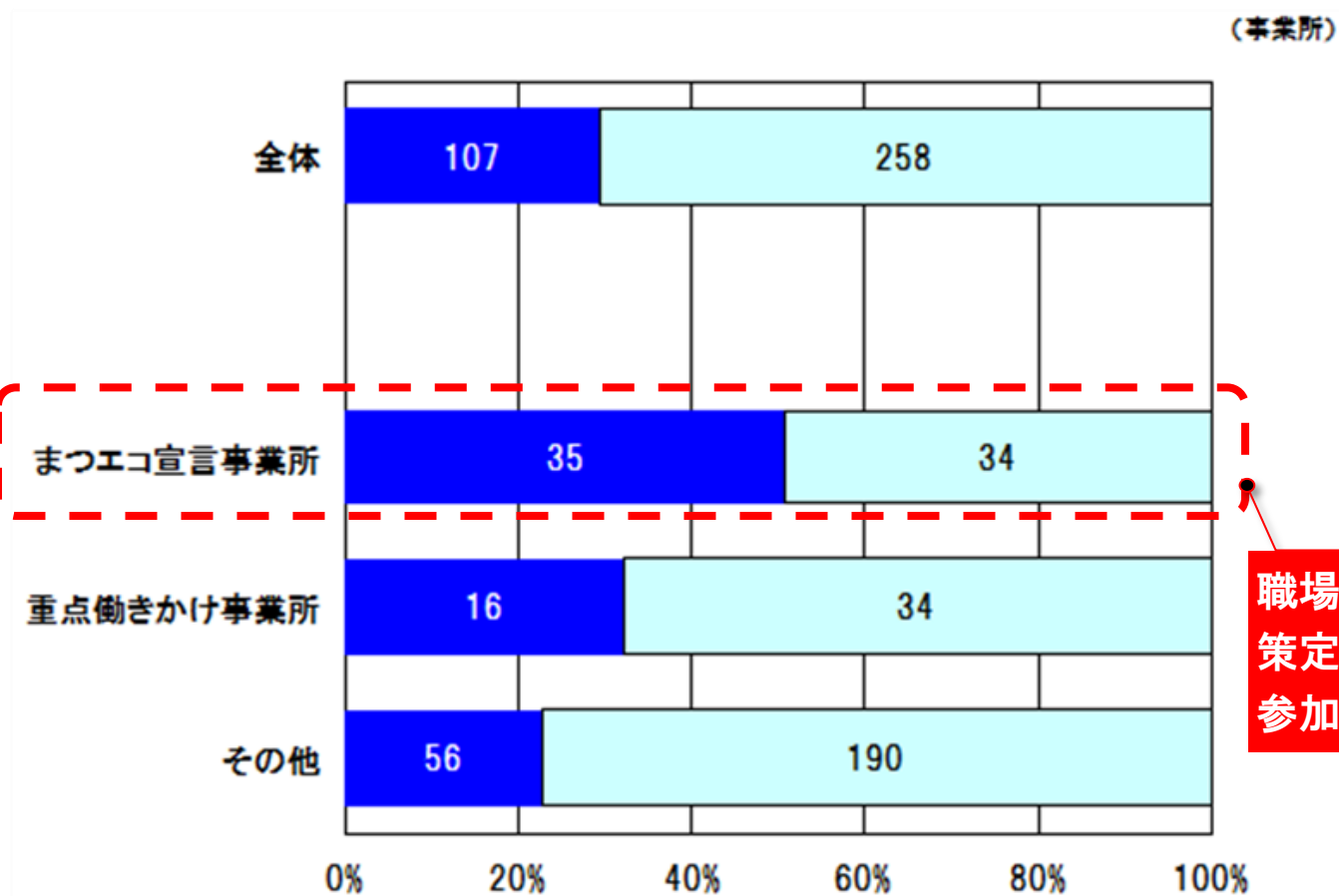


▼1年目のノーマイカーウィークに参加しない



「まつエコ宣言」のように、事業所の自主的な取り組みを促す取り組みは、実際の行動変容につながりやすい傾向

▼「まつエコ宣言」の有無と、ノーマイカーウィークへの参加率の関係性



職場交通プラン策定事業所は参加率が高い

一番難しい?と思われる
事業所が行動変容

6キロ以内のマイカー通勤

松江市原則認めず

正職員対象 4月1日から

公共交通など利用促す

松江市は2011年度から、市役所本庁などに勤務する正職員のうち、自宅との距離が6キロ以内のマイカー通勤を原則認めず、公共交通機関や自転車などの利用を促す方針を決めた。同市は二酸化炭素の排出量削減や渋滞緩和を目的に毎秋、一斉ノーマイカーウィークを設け、民間にも協力を要請。既にバス通勤している松浦正敬市長に続き、市職員も率先して取り組むことで、運動の機運を盛り上げる。

市役所本庁とガス、水道、交通、病院の各企業局、消防本部などで働く正職員（夜勤をはじめとする交代制職場は除く）が対象で、各職場への通勤距離が6キロ以内の該当者には約500人。市全体の正職員の約2割に当たるという。通勤手段は現在、個々の判断に委ねているが、4月1日以降は子どもを保育園に送迎するな

ど、特殊事情がある場合を除き、バスや鉄道、自転車、バイク、徒歩での通勤を促す。公共交通機関を使う場合は、市が定期券代を全額負担する。

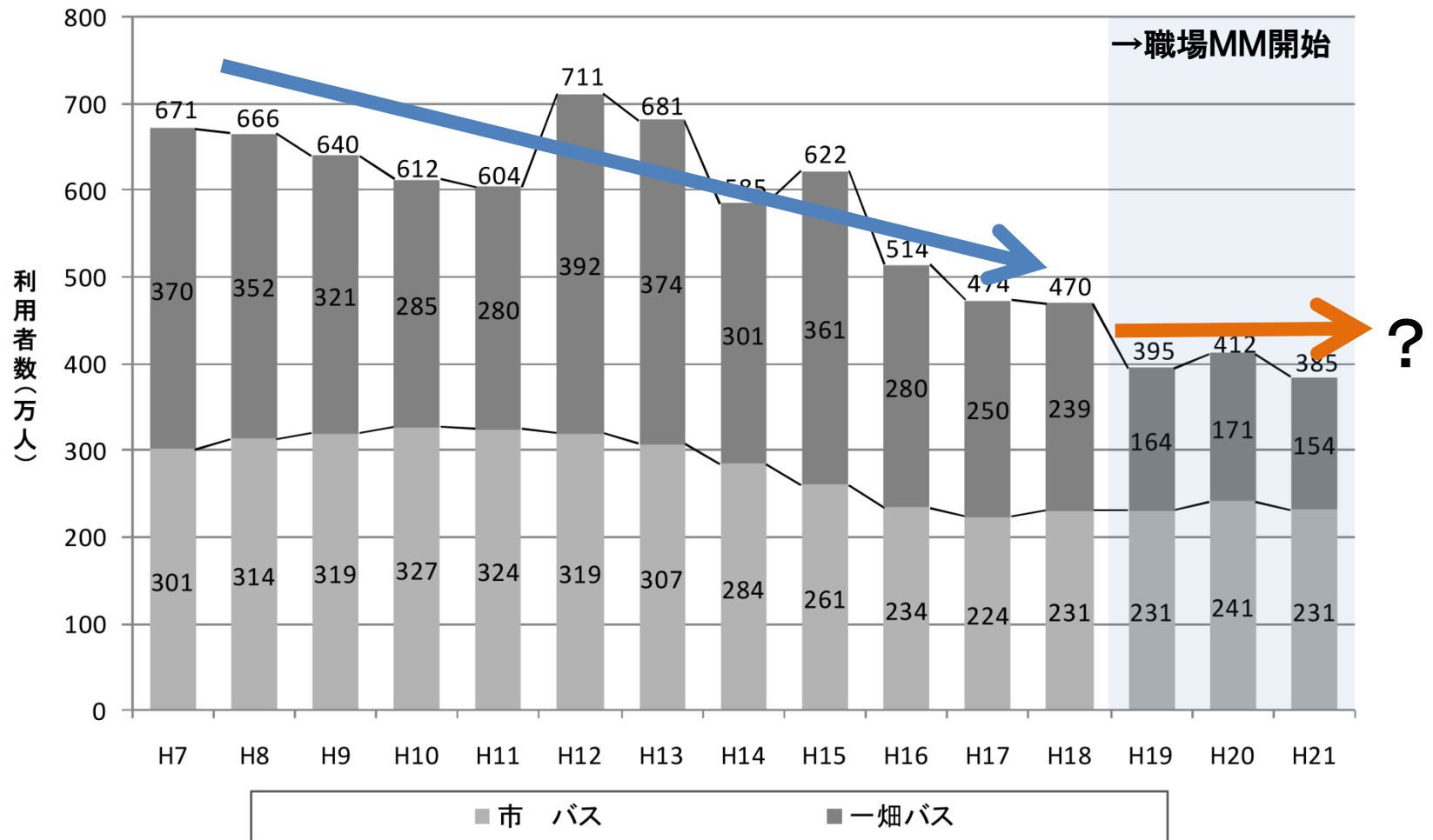
できない時間帯になると分かっている日は、市有地を臨時駐車場として提供し、マイカー通勤を認める。市によると、対象となる約500人中、約400人は現在、マイカーで通勤。市は強制はしないものの、理解を呼び掛け、100%に近い参加を目指すとしている。

一方、事前に残業で帰宅が公共交通機関を利用

「縁結び」、「だんだん」の松江市で職場と連携しMMを推進した結果、

- 「はじめよう通勤でまつエコ」や「ノーマイカーウィーク」でつながった100事業所、延べ約3,200人との**縁**
- 松江市公共交通利用促進市民会議と行政機関の**絆**
- 参加後のフィードバック、職場交通プラン策定後のフォロー等、**「だんだん(ありがとう)」の精神**
- 加えて、2年連続して実施したことにより、事業所の取り組み姿勢も大きく高まり、昨年度参加した従業員のうち、実際に自動車通勤から転換したりする人も確認。
- 公共交通の利便性が低くても、厳しい気候でも地道なコミュニケーションの継続と利用者視点での代替交通手段の魅力向上により、MMが十分に効果があることを示唆。
- 今後はこれまでの取り組みで得られた事業所や市民の意識を更に高めつつ、地道なコミュニケーションを継続し、コンパクトな都市構造を活かした交通体系の確立が望まれる。

今後も継続的に展開し、
マイカーからの転換や、公共交通の利用者が進むことを期待





ご清聴

ありがとうございました